

高知市斎場火葬棟空調設備設置工事

図面目次

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	特記仕様書(1)	NOSCALE
M-02	特記仕様書(2)	NOSCALE
M-03	附近見取図・凡例・工事概要・配置図	1:500
M-04	空調機器リスト(現況・新設)	NOSCALE
M-05	1階空調配管 平面図(現況図)	1:100
M-06	1階空調配管 平面図(改修図)	1:100
M-07	2階空調配管 平面図(現況図)	1:100
M-08	2階空調配管 平面図(改修図)	1:100
M-09	1階空調ダクト 平面図(現況・撤去図)	1:100
M-10	1階空調ダクト 平面図(改修図)	1:100
M-11	1階計装設備 平面図(現況図)	1:100
M-12	1階計装設備 平面図(改修図)	1:100
M-13	2階計装設備 平面図(改修図)	1:100
M-14	1階天井伏 平面図(改修図)	1:100

図面番号	図面名称	縮尺
E-01	特記仕様書(2)	NOSCALE
E-02	1階 空調動力配線図(改修図)	1:100
E-03	2階 空調動力配線図・盤改修図(改修図)	1:100

高知市斎場火葬棟空調設備設置工事 特記仕様書										項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項																			
Ⅰ 工 事 概 要										16 統括安全衛生管理義務者の指名		配置人員の資格 ・ 1 名以上／1 班は交通誘導警備業務に係る検定合格者（1 級又は 2 級）を配置する工事。 ※ 交通誘導に関し、1 名以上／1 班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。		23 特別な材料の工法		公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。																			
1. 工事場所 高知市幸崎75番地 2. 建物概要														24 技能士の適用																					
<table><tr><th rowspan="2">建物名称</th><th rowspan="2">構造</th><th rowspan="2">階数</th><th colspan="2">建築基準法に基づく</th><th rowspan="2">消防法施行令 別表第一</th><th rowspan="2">都市計画法に基づく 用途地域</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>延べ面積</th><th>主要用途</th></tr><tr><td>火葬棟</td><td>RC</td><td>2階</td><td>1, 523.19㎡</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										建物名称	構造	階数	建築基準法に基づく		消防法施行令 別表第一	都市計画法に基づく 用途地域	備考	延べ面積	主要用途	火葬棟	RC	2階	1, 523.19㎡					17 発生材の処理		労働安全衛生法第 30 条第 2 項に基づき指名をする。 (1.3.5) [1.3.5]		25 完成時の提出物		公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。 (1.7.1) [1.8.2] 公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書に記入する。 a) 黒表紙金文字製本（A 4 版） 1 部 ※ 要 ・ 不要 （完成図、官公庁届出書、取扱説明書、保証書、機器決定図、各種試験成績書、サービス体制表、その他監督職員の指示するもの。） b) 完成図 2 つ折り製本（A 3 版） 1 部 ・ 要 ○ 不要 c) C A D データ（図面 1 枚につき 1 ファイル） 1 部 ※ 要 ・ 不要 d) P D F データ（全図面を 1 ファイル） 1 部 ※ 要 ・ 不要 e) 建築物等の利用に関する説明書（説明書（A 4 版）、電子データ） 1 部 ・ 要 ○ 不要 f) 工具類（ ・ 鋤鉄蓋フック ・ 制水弁ハンドル ・ 掃除口ハンドル ・ ）	
建物名称	構造	階数	建築基準法に基づく		消防法施行令 別表第一	都市計画法に基づく 用途地域	備考																												
			延べ面積	主要用途																															
火葬棟	RC	2階	1, 523.19㎡																																
3. 工事項目 火葬棟 1 空気調和設備 一式 3 撤去工事 一式 2 電気設備 一式 4 発生材処理 一式										26 建築物等の利用に関する説明書		作成に当たっては、別契約の関連工事にかかわる説明書と内容の調整を十分行い、なるべく 1 冊にまとめるよう、関連工事等の受注者と打合せをする。内容及び水準は、国土交通省がホームページ上で公開している「建築物等の利用に関する説明書作成の手引及び作成例」を参考とする。（ http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.html ） 完成図書に当該説明書及び電子データを添付すると共に、施設監理者に別途 1 部提出する。なお、改修工事については、既存説明書の当該工事対象範囲の記載事項を更新することで当該説明書の作成に替えることができるものとする。 (1.7.3) [1.8.4]																							
4. 関連工事等 ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 衛生設備工事 ・ 空調設備工事 ・ 植栽工事 ・ 外構工事 ・ 解体工事 5. 概成工期 ・ 完成期限の（ ）日 前 （ 令和 年 月 日 ） 6. 部分使用（工事請負契約書第 3 4 条第 1 項）										27 取扱説明				完成時の提出図書（建築物等の利用に関する説明書を求める場合はこれを含む）を用いて、施設管理者及び使用者に取扱説明を行う。取扱説明の日程は、原則として工事目的物の引渡し前とし、監督職員及び施設管理者との協議の上決定する。 (1.7.3) [1.8.4]																					
Ⅱ 設 備 工 事 仕 様										28 不当要求等への対応		暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害（以下、「不当介入」という。）の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者から工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届け出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届け出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除措置を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を受けた場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。 a) 受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。 不正軽油とは、地方税法第 144 条の 32 の規定による県知事の承認を受けないで製造又は譲渡された次のものをいう。 1) 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの 2) 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造されたもの 3) 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素（重油、水素等） b) 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。																							
1. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5) 特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 2. 適用基準等 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ※ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和 7 年版 ※ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和 7 年版 ※ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和 7 年版 ※ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和 7 年版 ※ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和 7 年版 ※ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和 7 年版 ※ 建築物解体工事共通仕様書 令和 4 年版 給水外縁工事については、高知市水道局発行の「給水装置工事施工要領」による。 3. 「週休 2 日制工事」の実施について ※対象（○選択Ⅰ型 ・ 選択Ⅱ型） 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする 「週休 2 日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休 2 日制工事」実施要領（営繕工事編）による。（https://www.city.koohi.koohi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html） ・対象外（理由： ） 4. 「延滞による作業不能日数」の実施について ※対象・見込んでいない（理由：※過去の WBO 値に基づき算定した日数が 0 日のため ・ ） ・見込んでいる（作業不能日数：※現場説明書による ・ ） ・対象外（理由： ） 5. 「中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更」について ※適用する（現場説明書による） ・ 適用しない										29 不正軽油の使用の禁止				30 消防計画		31 工事用水・電力																			
項 目 特 記 事 項										32 仮囲い		33 砂利地帯						34 保護砂																	
一般共通事項										35 埋戻し				36 建設発生土の処理																					
① 官公署その他への手続き										36 建設発生土の処理		37 電気主任技術者への報告				38 工事特性等																			
② 工事実績情報サービス（CORINS）への登録（請負金額 500 万円以上）（受注、変更、完成時）										37 電気主任技術者への報告																									
③ 書類の書式等										38 工事特性等																									
4 総合工程表										39 図面名		高知市斎場火葬棟空調設備設置工事		係 係 長 課長補佐 課 長 図 面 番 号																					
5 総合図										40 更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01																			
⑥ 施工図等の取扱い										41 図面名		特記仕様書（1）		更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01															
⑦ 工事日誌										42 図面名		特記仕様書（1）		更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01															
⑧ 工事写真										43 図面名		特記仕様書（1）		更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01															
⑨ 下請負者の報告										44 更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01		M - 01																	
⑩ 電気保安技術者										45 更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01		M - 01																	
⑪ 施工条件										46 更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01		M - 01																	
⑫ 工事の保険										47 更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01		M - 01																	
⑬ 契約保証										48 更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01		M - 01																	
⑭ 前払金支出割合区分補正										49 更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01		M - 01																	
⑮ 交通誘導警備員										50 更新日		2026. 7. 1		作 図 2026 年 10 月 日		M - 01		M - 01																	

項 目		特 記 事 項		項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項																																																																																											
機械設備特記事項																																																																																																		
①	標準その他	※ 配管表記 (1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠] a) 機械室・ピット・P S 内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。 b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 c) 配管の識別は、原則として J I S Z 9 1 0 2 によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。 ※ 機器表記（該当する主要機器は事前に確認する。） a) 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート等にて表記（管理番号・室名・設置年月等）を行う。 b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。 c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板（製造社名・製造年月・型番・性能等）を盤付近にも設ける。 ※ 弁には、開閉等を記入したアクリル札を取付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。 ※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設標を設ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、G L－1 5 0 mm 程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。		11	メカニカル継手	※ メカニカル継手は伸縮可とう・離脱防止性能を有し、内外面エポキシ粉体塗装を施したものとする。 ※ 改修工事等で銅管類（ライニング銅管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、J A W W A K 1 3 5 規格適合品にて処置する。 (2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠] ※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。																																																																																												
②	総合調整	本工事に該当する工事項目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。 a) 風量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内外空気の温湿度の測定 d) 騒音の測定 e) 室内気流及びじんあいの測定 f) 飲料水の水質の測定 なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。 (2.1.3.3準拠) [2.1.3.3準拠]		12	吊り及び支持	横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔 <table> <tr> <th rowspan="2">分類</th><th colspan="10">呼び径</th></tr> <tr> <th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th></tr> <tr> <td rowspan="2">吊り金物による吊り</td><td colspan="5">銅管等</td><td colspan="5">2.0m</td><td colspan="4">3.0m</td></tr> <tr> <td colspan="5">ビニル管等</td><td colspan="5">1.0m</td><td colspan="4">2.0m</td></tr> <tr> <td rowspan="2">形鋼振れ止め支持</td><td colspan="5">銅管等</td><td colspan="5">—</td><td colspan="4">8.0m</td></tr> <tr> <td colspan="5">ビニル管等</td><td colspan="5">—</td><td colspan="4">6.0m</td></tr> </table> 立て管の固定及び振れ止め箇所 <table> <tr> <td>固定</td><td>銅管等</td><td>最下階の床又は最上階の床</td></tr> <tr> <td rowspan="2">形鋼振れ止め支持</td><td>銅管等</td><td>各階 1 箇所</td></tr> <tr> <td>ビニル管等</td><td>各階 1 箇所</td></tr> </table> ※ 国土交通省仕様どおりにより配管等施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。 ※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、ブラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。 ※ 契約量水器までの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲 1 0 0 mm 程度に保護砂を入れる。 ※ 契約量水器以降の埋設給水管及び埋設消防管は簡易保温管で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻立て、外圧に対して管きよを保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説準拠] 管の地中埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より 6 0 0 mm 以上、それ以外では 3 0 0 mm 以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 (2.2.7.2) [2.2.5.2] ※ 銅管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ 1／2 重ね 1 回巻きとする。 (2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠] ※ 地中に埋設する鉄鍍管・鍍鉄異形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。 (給水装置工事施工要領)		分類	呼び径										15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	吊り金物による吊り	銅管等					2.0m					3.0m				ビニル管等					1.0m					2.0m				形鋼振れ止め支持	銅管等					—					8.0m				ビニル管等					—					6.0m				固定	銅管等	最下階の床又は最上階の床	形鋼振れ止め支持	銅管等	各階 1 箇所	ビニル管等	各階 1 箇所
分類	呼び径																																																																																																	
	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300																																																																																				
吊り金物による吊り	銅管等					2.0m					3.0m																																																																																							
	ビニル管等					1.0m					2.0m																																																																																							
形鋼振れ止め支持	銅管等					—					8.0m																																																																																							
	ビニル管等					—					6.0m																																																																																							
固定	銅管等	最下階の床又は最上階の床																																																																																																
形鋼振れ止め支持	銅管等	各階 1 箇所																																																																																																
	ビニル管等	各階 1 箇所																																																																																																
③	配管材料	配管の種類 <table> <tr> <th>場所</th><th>屋内露出</th><th>天井 P S 内</th><th>床下暗渠内</th><th>屋外露出</th><th>屋外埋設</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>給 水</td><td>〔3〕</td><td>〔3〕〔11〕</td><td>〔3〕〔12〕</td><td>〔9〕</td><td>〔10〕〔18〕</td><td></td></tr> <tr> <td>排水・通気</td><td>〔22〕</td><td>〔13〕</td><td>〔14〕〔15〕</td><td>〔11〕〔24〕</td><td>〔16〕</td><td>(15) :125以上はVU</td></tr> <tr> <td>給 湯</td><td>〔9〕</td><td>〔9〕</td><td>〔9〕</td><td>〔9〕</td><td>〔17〕</td><td></td></tr> <tr> <td>消 火</td><td>〔18〕</td><td>〔9〕</td><td>〔18〕</td><td>〔16〕</td><td>〔19〕</td><td></td></tr> <tr> <td>ガ ス</td><td>〔20〕</td><td>〔20〕</td><td>〔20〕</td><td>〔20〕</td><td>〔21〕</td><td></td></tr> <tr> <td>冷 媒</td><td>(10)</td><td>(10)</td><td>〔10〕</td><td>(10)</td><td>—</td><td></td></tr> <tr> <td>機器ドレン</td><td>〔23〕</td><td>(23)</td><td>〔23〕</td><td>〔17〕〔22〕</td><td>〔16〕</td><td></td></tr> <tr> <td>冷 温 水</td><td>〔17〕〔5〕</td><td>〔17〕〔5〕</td><td>〔17〕〔5〕</td><td>〔17〕〔5〕</td><td>—</td><td></td></tr> <tr> <td>冷 却 水</td><td>〔17〕〔3〕</td><td>(27)〔3〕</td><td>(27)〔3〕</td><td>〔17〕〔3〕</td><td>—</td><td></td></tr> </table> (1) 配管用炭素鋼管 (SGP黒管:JIS G 3452) (2) 配管用炭素鋼管 (SGP白管:JIS G 3452) (3) 水道用硬質塩化ビニル管(ライニング)鋼管 (SGP-VB:JWWA K 116) (4) 水道用硬質塩化ビニル管(ライニング)鋼管 (SGP-VD:JWWA K 116) (5) 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管(ライニング)鋼管 (SGP-HVA:JWWA K 140) (6) 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS:WSP 041) (7) 排水用硬質塩化ビニル管(ライニング)鋼管 (D-VA:WSP 042) (8) 配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TP-A:JIS G 3459) (9) 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TPD:JIS G 3448) (10) 断熱材被覆鋼管 (JGDA 0009) (11) 水道用架橋用ステンレス管 (JIS K 6787) (12) 水道用ステンレス二層管 (JIS K 6762) (13) 耐火二層管(内管VP) (14) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP:JIS K 6742) (15) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP-VU:JIS K 6741) (16) 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP:JIS K 6742) (17) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HT:JIS K 6776) (18) 水道配水管用ステンレス管 (JWWA K 144) ・建築設備用高密度ステンレス管 (19) 消火用ステンレス管 (20) ガス用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (21) ガス用ステンレス管 (JIS K 6774) (22) 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (23) 保温材付空調用ドレン管 (JIS C 8430準拠・JIS K 6741)</	場所	屋内露出	天井 P S 内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備 考	給 水	〔3〕	〔3〕〔11〕	〔3〕〔12〕	〔9〕	〔10〕〔18〕		排水・通気	〔22〕	〔13〕	〔14〕〔15〕	〔11〕〔24〕	〔16〕	(15) :125以上はVU	給 湯	〔9〕	〔9〕	〔9〕	〔9〕	〔17〕		消 火	〔18〕	〔9〕	〔18〕	〔16〕	〔19〕		ガ ス	〔20〕	〔20〕	〔20〕	〔20〕	〔21〕		冷 媒	(10)	(10)	〔10〕	(10)	—		機器ドレン	〔23〕	(23)	〔23〕	〔17〕〔22〕	〔16〕		冷 温 水	〔17〕〔5〕	〔17〕〔5〕	〔17〕〔5〕	〔17〕〔5〕	—		冷 却 水	〔17〕〔3〕	(27)〔3〕	(27)〔3〕	〔17〕〔3〕	—																											
場所	屋内露出	天井 P S 内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備 考																																																																																												
給 水	〔3〕	〔3〕〔11〕	〔3〕〔12〕	〔9〕	〔10〕〔18〕																																																																																													
排水・通気	〔22〕	〔13〕	〔14〕〔15〕	〔11〕〔24〕	〔16〕	(15) :125以上はVU																																																																																												
給 湯	〔9〕	〔9〕	〔9〕	〔9〕	〔17〕																																																																																													
消 火	〔18〕	〔9〕	〔18〕	〔16〕	〔19〕																																																																																													
ガ ス	〔20〕	〔20〕	〔20〕	〔20〕	〔21〕																																																																																													
冷 媒	(10)	(10)	〔10〕	(10)	—																																																																																													
機器ドレン	〔23〕	(23)	〔23〕	〔17〕〔22〕	〔16〕																																																																																													
冷 温 水	〔17〕〔5〕	〔17〕〔5〕	〔17〕〔5〕	〔17〕〔5〕	—																																																																																													
冷 却 水	〔17〕〔3〕	(27)〔3〕	(27)〔3〕	〔17〕〔3〕	—																																																																																													



特記事項

- ※ 実質工期は90日とする。

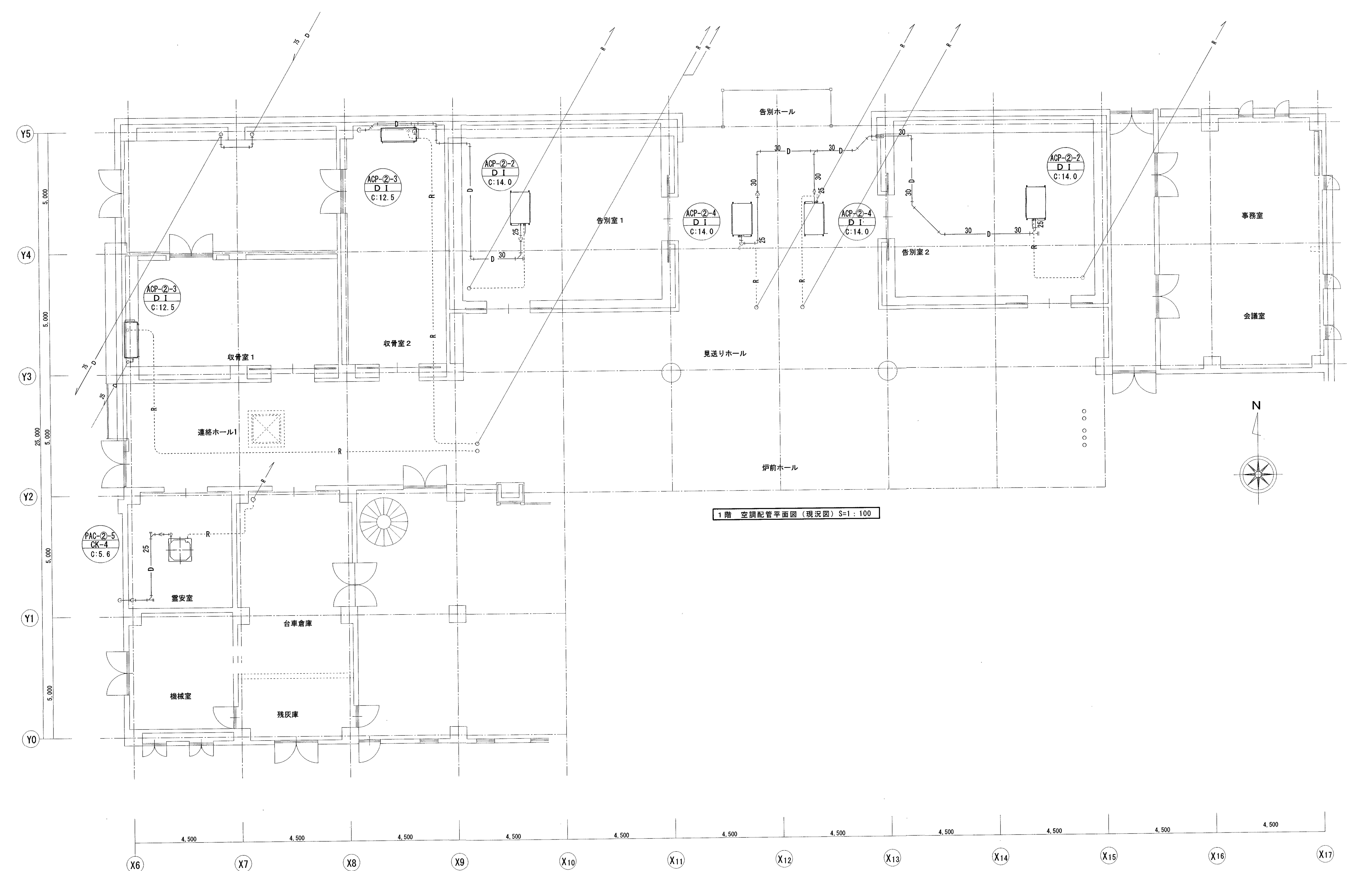
凡例	
	キヤツ 及 プラツ 止
	既設配管（薄線）を示す
	新設配管（濃線）を示す
	既設配管に接続
	撤去配管を示す（立上配管共）
	駄目穴の補修
	撤去箇所を示す



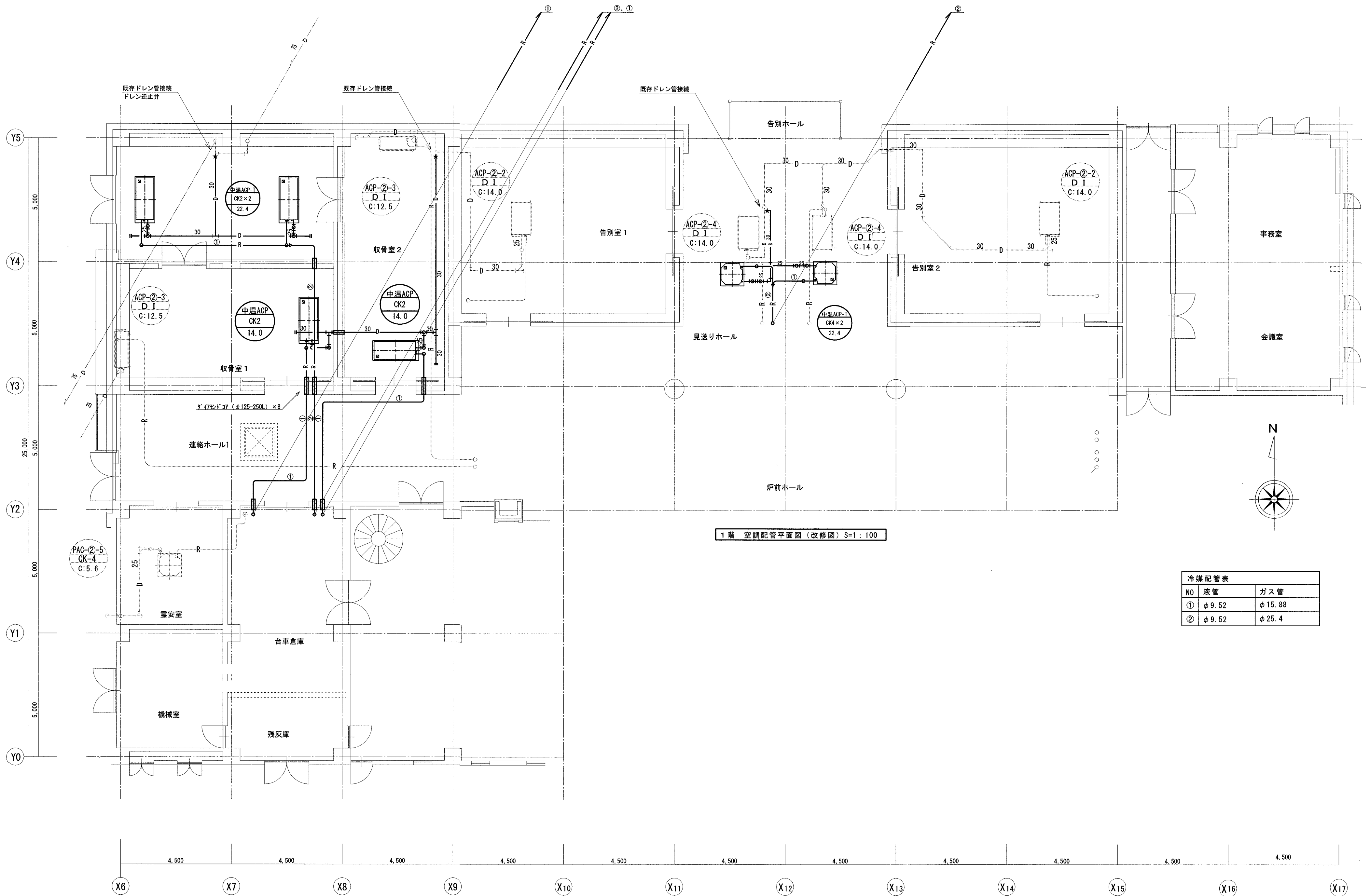
火葬棟空調機器 リスト（現況）				
記 号	名 称 ・ 仕 様	電 源 消費電力	数量	火葬棟設置室
ACP-②-2 C:14.0 屋外機：既存 ACP-②-2 DI C:14.0 屋内機：既存	冷暖房機・外気処理ﾊﾞｯｸｰｼﾞ	室内機： 1φ200V 室外機： 3φ200V	2組	1階告別室 1 1階告別室 2
	空冷ヒートポンプﾊﾞｯｸｰｼﾞ・インﾊﾞｰﾀｰ、天井埋込ﾀﾞｸﾄ形			
	冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0kW			
	冷媒配管：φ9.52×15.88			
	付属品：ワイヤードリモコン、遠方制御ﾌﾞﾗｯｸﾞｰ			
	室外機：耐塩害仕様・壁掛け架台（溶融亜鉛メッキ）、転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）			
	室内機：フィルターボックス、ロングライフフィルター、防振ﾊﾝｶﾞｰ、振止金物（溶融亜鉛メッキ）			
	事務室中央監視盤により遠方発停・運転表示・故障表示			
ACP-②-3 C:12.5 屋外機：既存 ACP-②-3 DI C:12.5 屋内機：既存	冷暖房機・一般用ﾊﾞｯｸｰｼﾞ	3φ200V	2組	1階収骨室 1 1階収骨室 2
	空冷ヒートポンプﾊﾞｯｸｰｼﾞ・インﾊﾞｰﾀｰ、天井埋込ﾀﾞｸﾄ形			
	冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW			
	冷媒配管：φ9.52×15.88			
	付属品：ワイヤードリモコン、遠方制御ﾌﾞﾗｯｸﾞｰ			
	室外機：耐塩害仕様・壁掛け架台（溶融亜鉛メッキ）、転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）			
	室内機：フィルターボックス、ロングライフフィルター、防振ﾊﾝｶﾞｰ、振止金物（溶融亜鉛メッキ）			
	事務室中央監視盤により遠方発停・運転表示・故障表示			
ACP-②-4 C:14.0 屋外機：既存 ACP-②-4 DI C:14.0 屋内機：既存	冷暖房機・一般用ﾊﾞｯｸｰｼﾞ	3φ200V	2組	告別ホール
	空冷ヒートポンプﾊﾞｯｸｰｼﾞ・インﾊﾞｰﾀｰ、天井埋込ﾀﾞｸﾄ形			
	冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW			
	冷媒配管：φ9.52×15.88			
	付属品：ワイヤードリモコン、遠方制御ﾌﾞﾗｯｸﾞｰ			
	室外機：耐塩害仕様・壁掛け架台（溶融亜鉛メッキ）、転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）			
	室内機：フィルターボックス、ロングライフフィルター、防振ﾊﾝｶﾞｰ、振止金物（溶融亜鉛メッキ）			
	事務室中央監視盤により遠方発停・運転表示・故障表示			
ACP-②-5 C:5.6 屋外機：既存 ACP-②-5 CK-4 C:5.6 屋内機：既存	冷暖房機・一般用ﾊﾞｯｸｰｼﾞ	3φ200V	1組	1階霊安室
	空冷ヒートポンプﾊﾞｯｸｰｼﾞ・インﾊﾞｰﾀｰ、屋内：天井ｶｾｯﾄ4方向吹出し			
	冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3kW			
	冷媒配管：φ6.35×12.7			
	付属品：ワイヤードリモコン、遠方制御ﾌﾞﾗｯｸﾞｰ			
	室外機：耐塩害仕様・壁掛け架台（溶融亜鉛メッキ）、転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）			
	室内機：標準ﾊﾞﾚｯﾄ、フィルターボックス、ロングライフフィルター、防振ﾊﾝｶﾞｰ、振止金物（溶融亜鉛メッキ）			
	事務室中央監視盤により遠方発停・運転表示・故障表示			

火葬棟空調機器 リスト（新設）				
記 号	名 称 ・ 仕 様	電 源 消費電力	数量	火葬棟設置室
中温ACP-T CK2×2 22.4	冷暖房機・中温用設備用ﾊﾞｯｸｰｼﾞ（ツイン）	3φ200V	1組	収骨ホール
	空冷ヒートポンプﾊﾞｯｸｰｼﾞ・インﾊﾞｰﾀｰ、天井ｶｾｯﾄ2方向×2			
	冷房能力 18.5 kW 暖房能力 20.0 kW 以上			
	消費電力 7.5 kW 7.0 kW 以下 圧縮機4.5 kW 以下			
	付属品：ワイヤードリモコン、ドレンアップﾏﾁ、遠方制御ﾌﾞﾗｯｸﾞｰ			
	室外機：耐塩害仕様・壁掛け架台（溶融亜鉛メッキ）、転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）			
	室内機：化粧ﾊﾞﾚｯﾄ、防振ﾊﾝｶﾞｰ、振止金物			
	事務室中央監視盤により遠方発停・運転表示・故障表示			
中温ACP CK2 14.0	冷暖房機・中温用設備用ﾊﾞｯｸｰｼﾞ	3φ200V	2組	1階収骨室 1 1階収骨室 2
	空冷ヒートポンプﾊﾞｯｸｰｼﾞ・インﾊﾞｰﾀｰ、天井ｶｾｯﾄ2方向			
	冷房能力 11.0 kW 暖房能力 12.5 kW 以上			
	消費電力 4.5 kW 4.0 kW 以下 圧縮機3.0 kW 以下			
	付属品：ワイヤードリモコン、ドレンアップﾏﾁ、遠方制御ﾌﾞﾗｯｸﾞｰ			
	室外機：耐塩害仕様・壁掛け架台（溶融亜鉛メッキ）、転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）			
	室内機：化粧ﾊﾞﾚｯﾄ、防振ﾊﾝｶﾞｰ、振止金物			
	事務室中央監視盤により遠方発停・運転表示・故障表示			
中温ACP-T CK4×2 22.4	冷暖房機・中温用設備用ﾊﾞｯｸｰｼﾞ（ツイン）	3φ200V	1組	告別ホール
	空冷ヒートポンプﾊﾞｯｸｰｼﾞ・インﾊﾞｰﾀｰ、天井ｶｾｯﾄ4方向×2			
	冷房能力 18.5 kW 暖房能力 20.0 kW 以上			
	消費電力 6.5 kW 6.0 kW 以下 圧縮機5.0 kW 以下			
	付属品：ワイヤードリモコン、ドレンアップﾏﾁ、遠方制御ﾌﾞﾗｯｸﾞｰ			
	室外機：耐塩害仕様・壁掛け架台（溶融亜鉛メッキ）、転倒防止金具（溶融亜鉛メッキ）			
	室内機：昇降式ﾊﾞﾚｯﾄ、防振ﾊﾝｶﾞｰ、振止金物			
	事務室中央監視盤により遠方発停・運転表示・故障表示			

特記事項
① 屋内外電源線はCE-3.5sq-4Cとする。
② 電源線及び制御線は原則冷媒管共巻とする。（設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。）
③ 新設機器の冷媒ガス追加充填が必要な場合は本工事で行うこと。

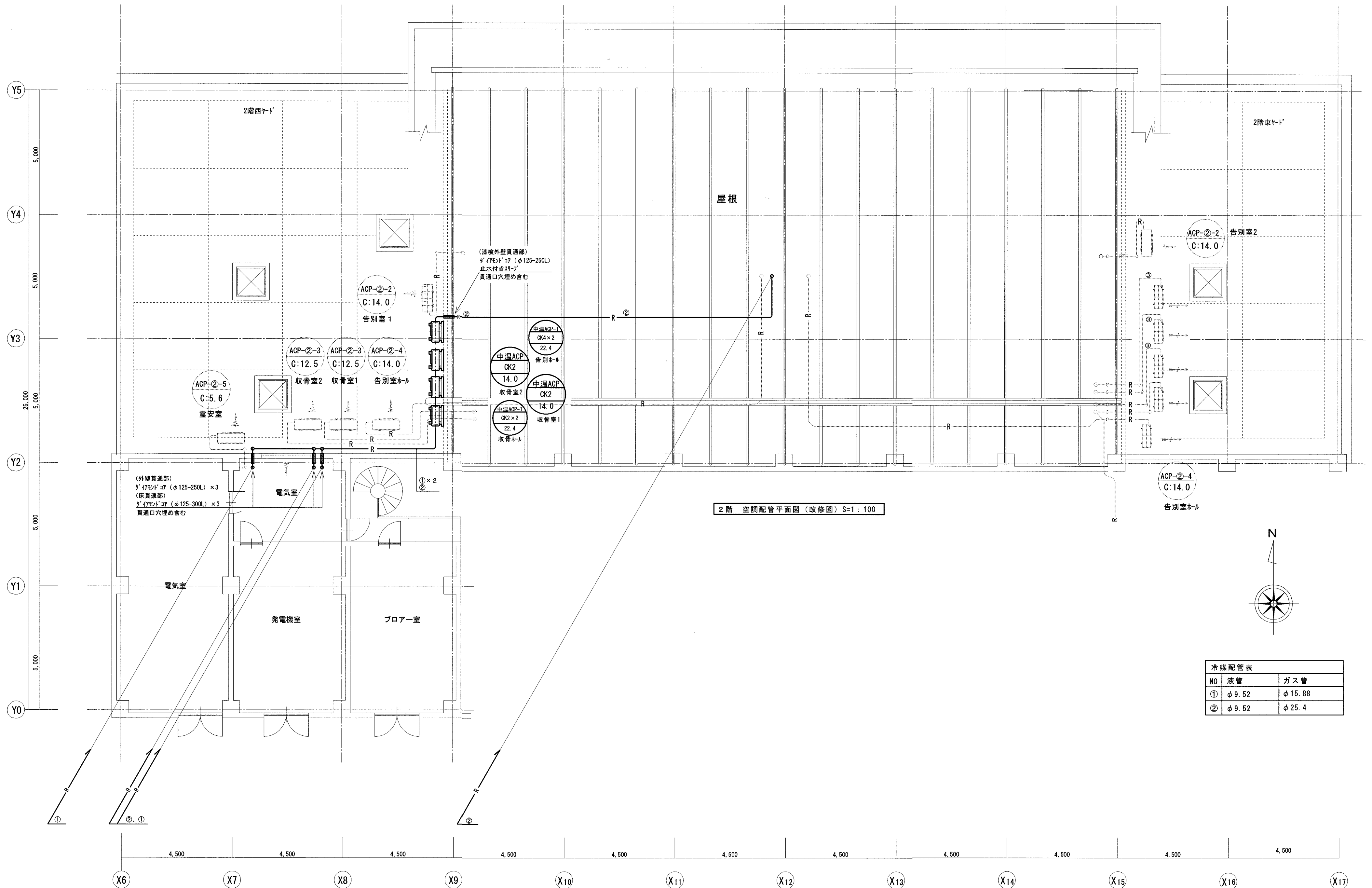


1階 空調配管平面図 (現況図) S=1:100

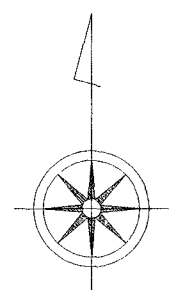


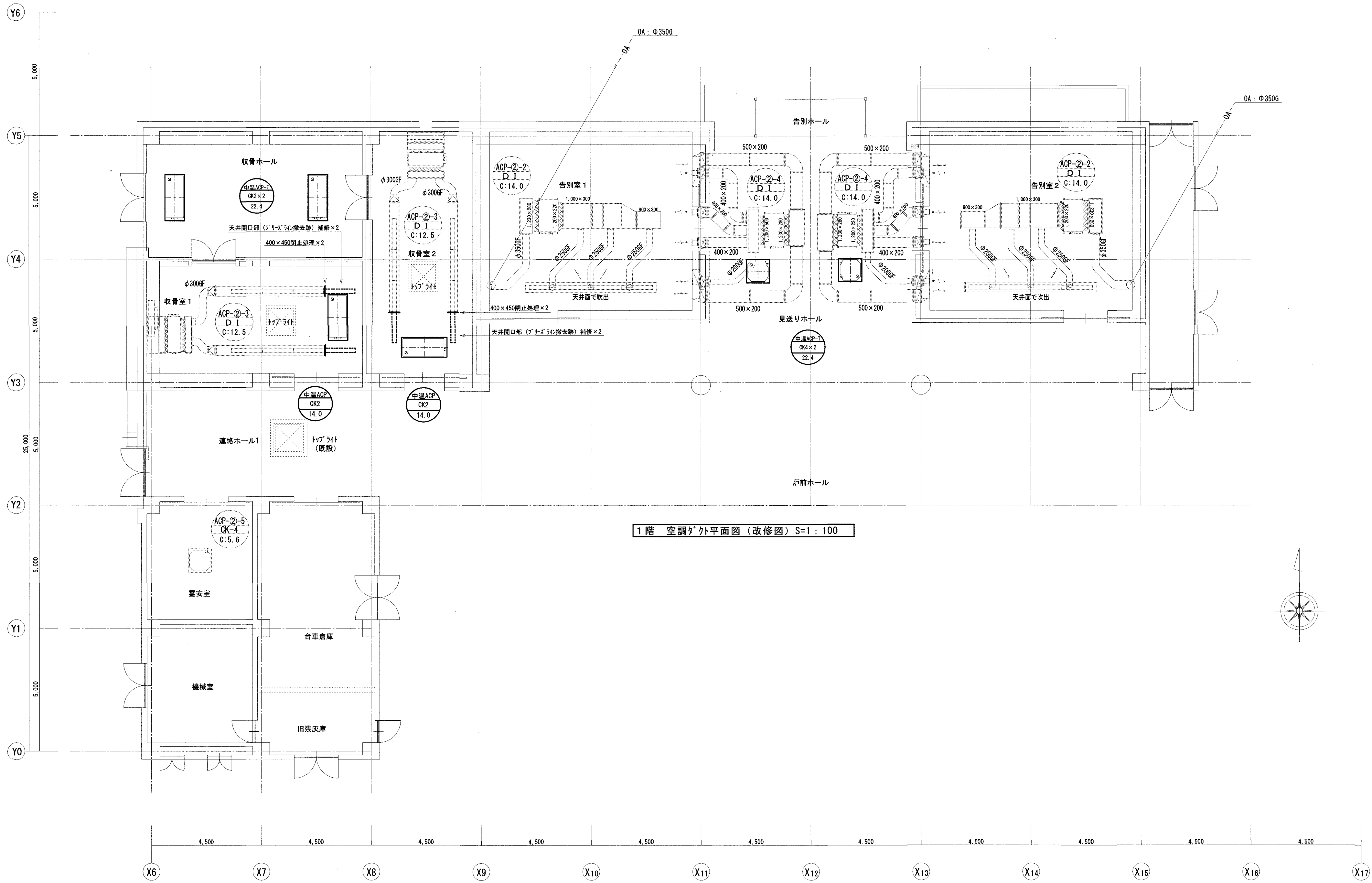
1階 空調配管平面図 (改修図) S=1 : 100

冷媒配管表		
N0	液管	ガス管
①	φ 9.52	φ 15.88
②	φ 9.52	φ 25.4

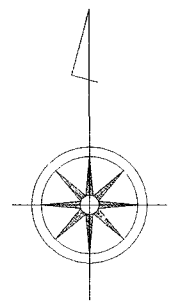


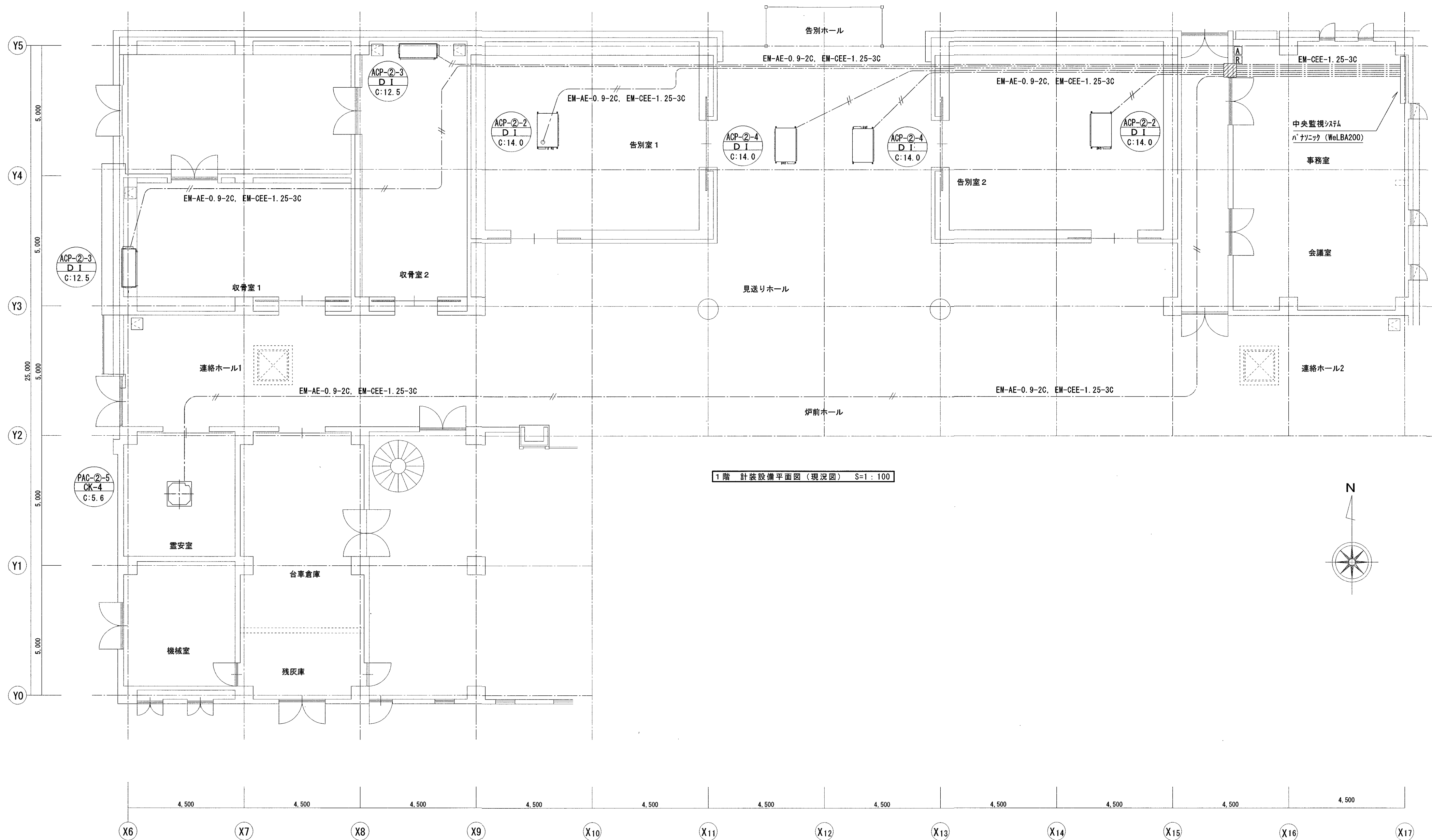
冷媒配管表		
NO	液管	ガス管
①	φ 9.52	φ 15.88
②	φ 9.52	φ 25.4

[illegible]

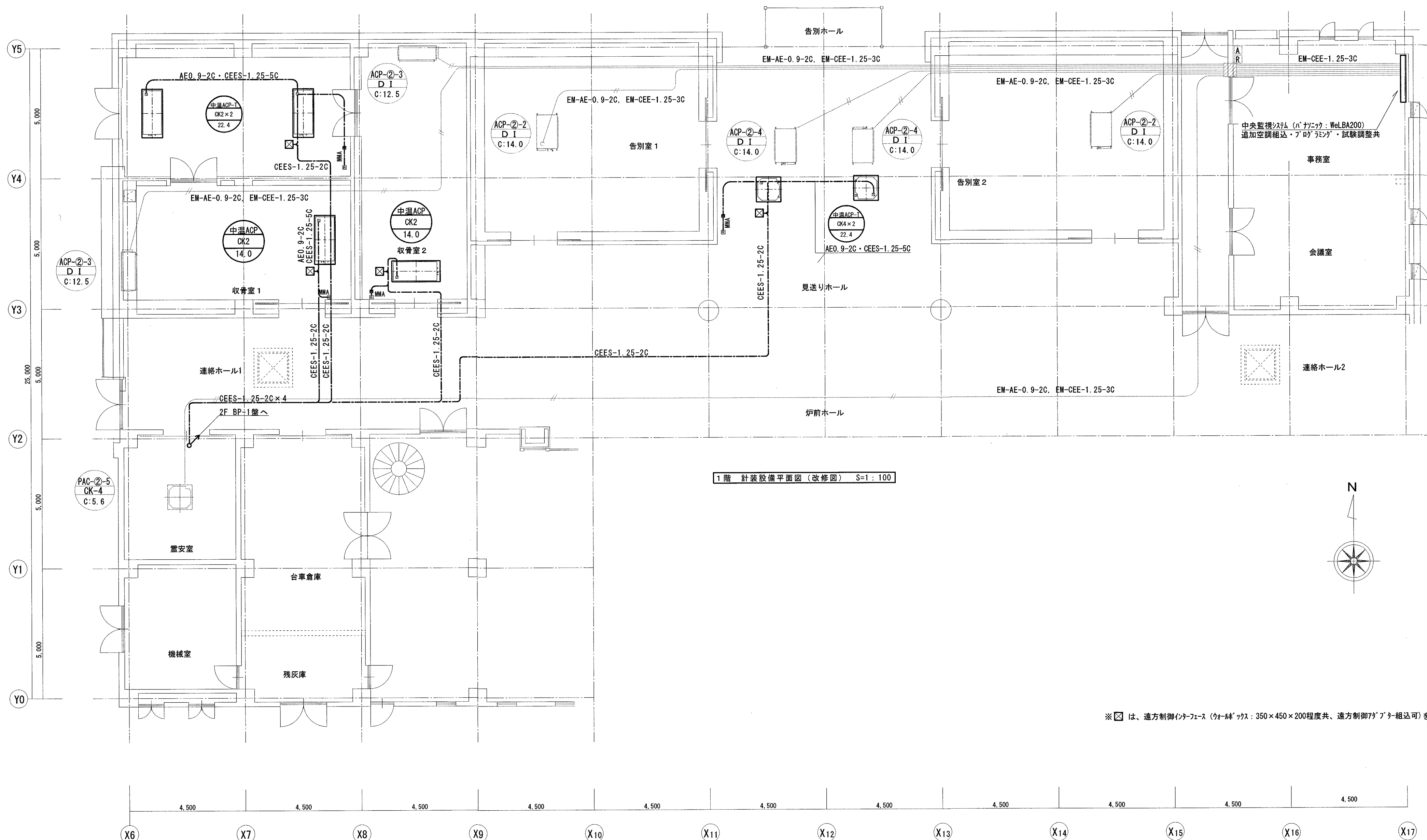


1階 空調ダクト外平面図（改修図）S=1：100



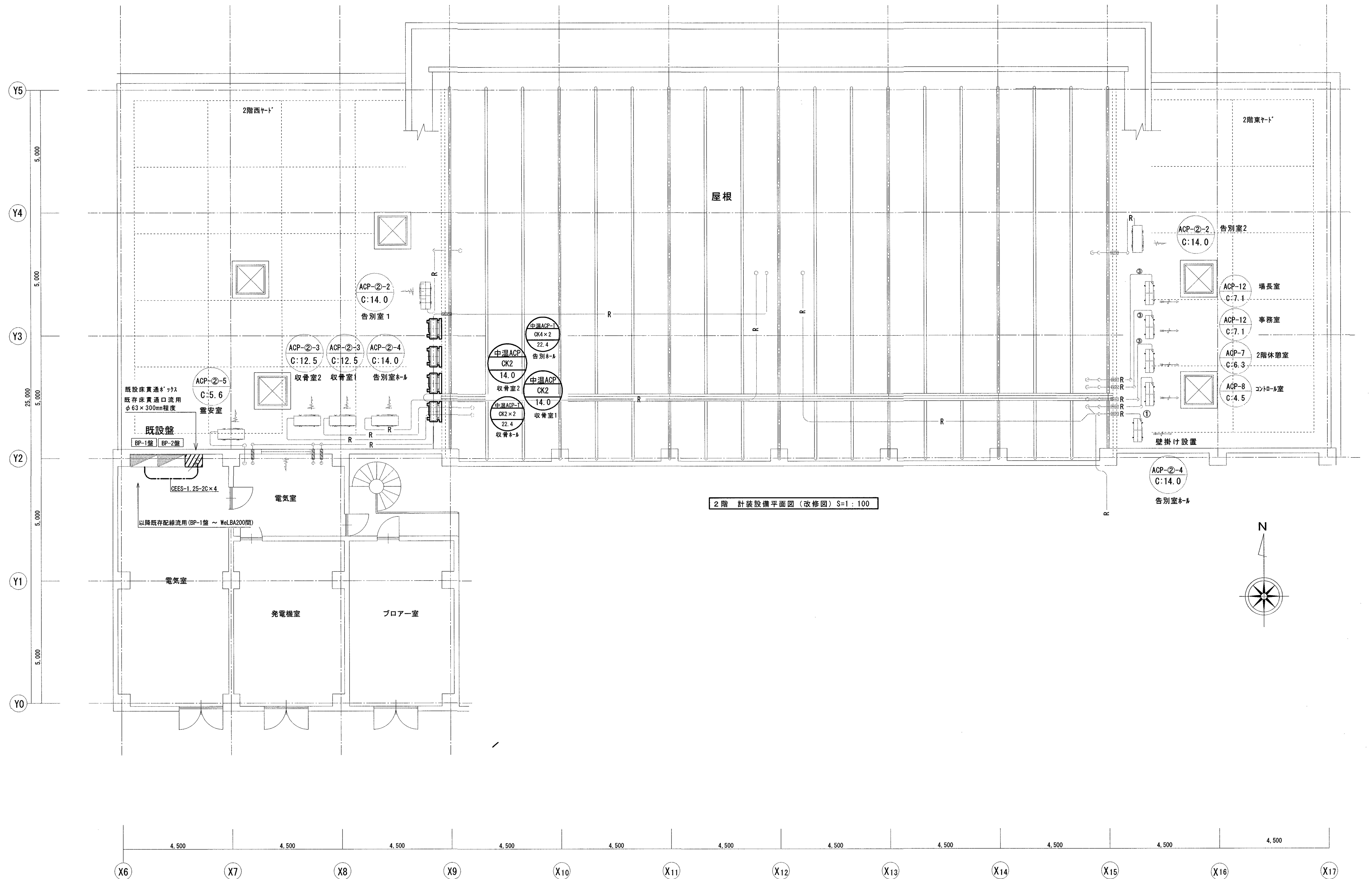


1階 計装設備平面図 (現況図) S=1:100

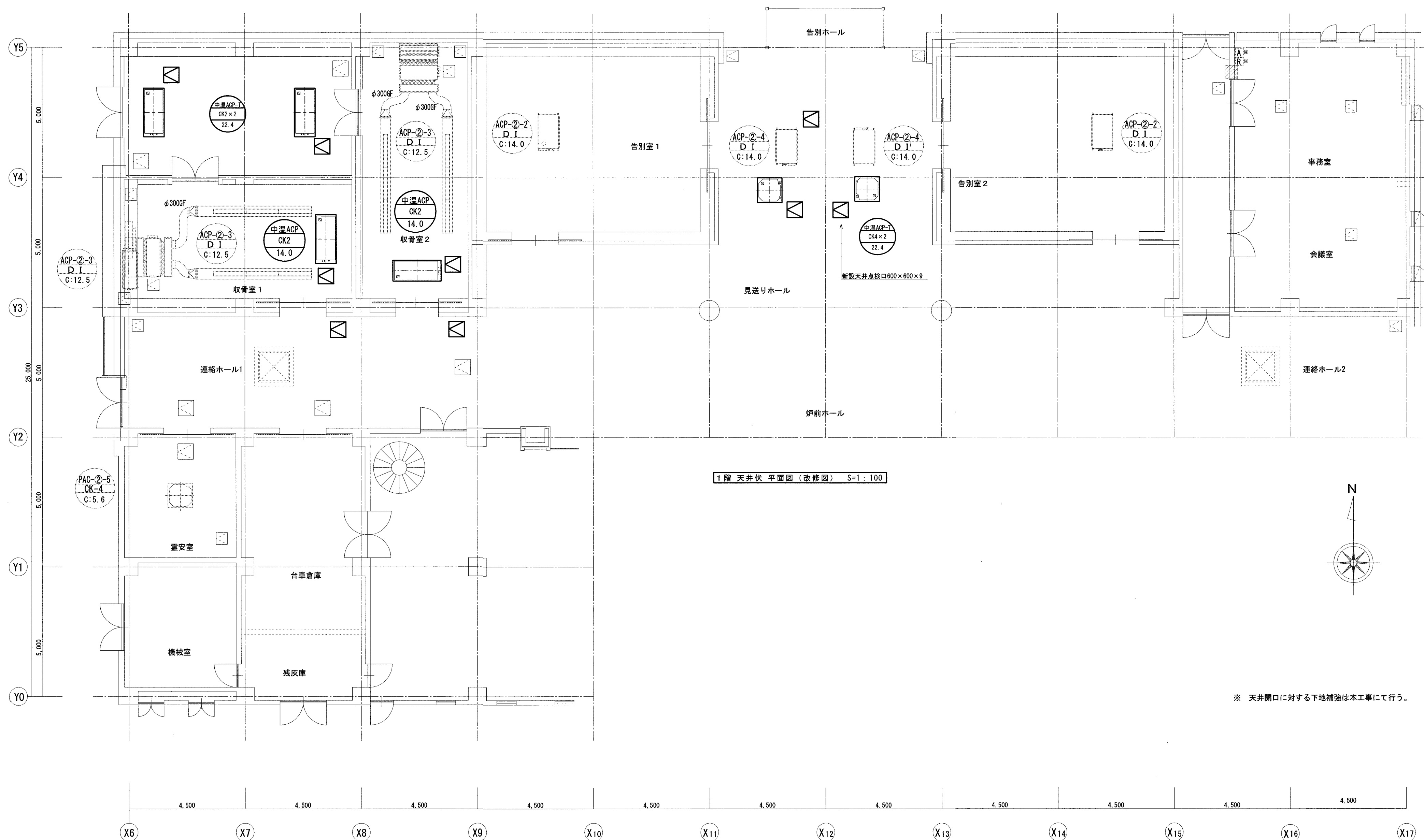


1階 計装設備平面図 (改修図) S=1:100

※ 図中の□は、遠方制御インターフェース (ウォールボックス: 350×450×200程度共、遠方制御7台分程度組込可) を示す。

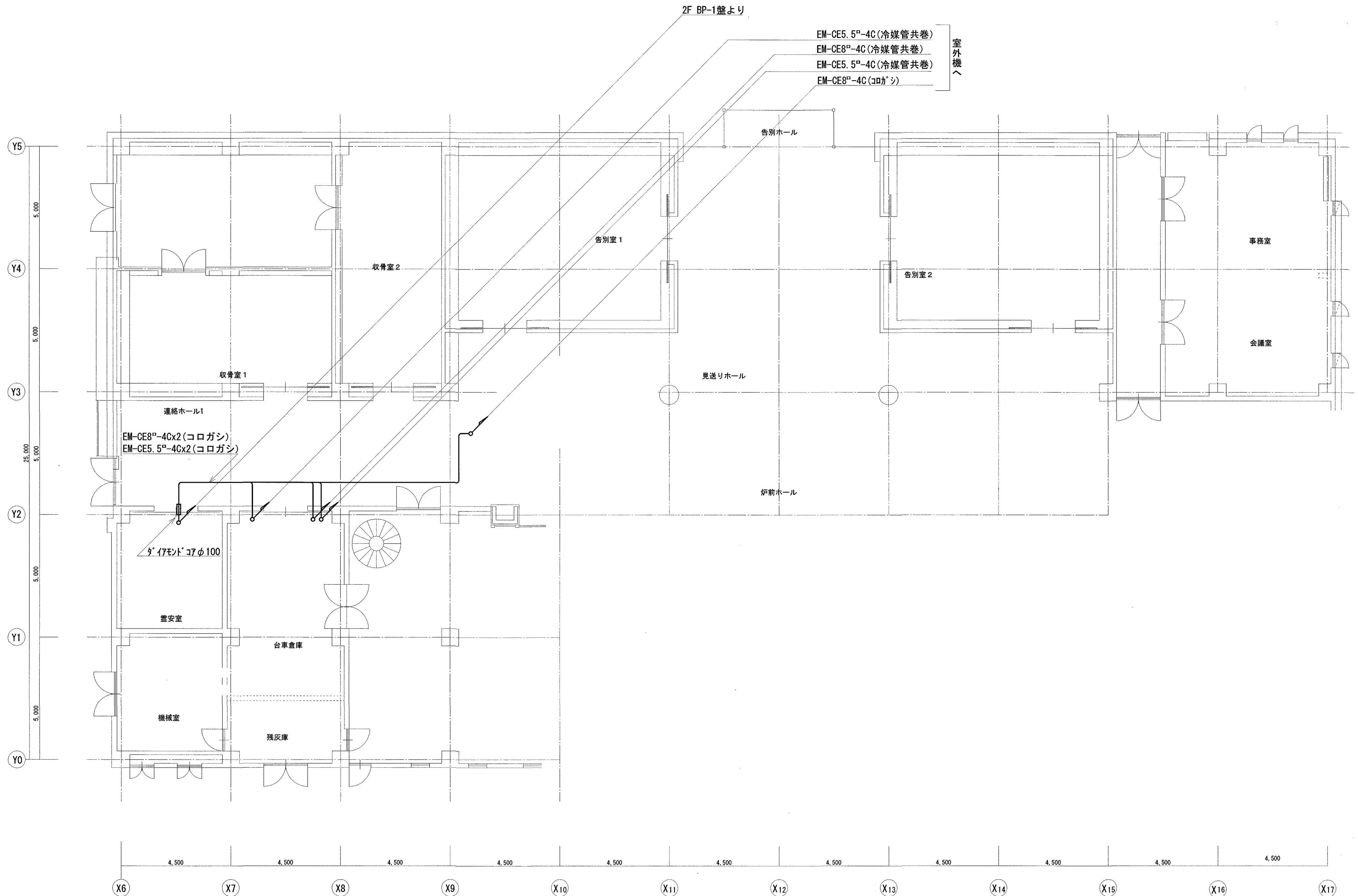


訂正事項	高知市都市建設部公共建築課				設備設計うかさんち。 Mechanical & Electrical design office ukasanchi	高知市八反町2丁目8番地5号 TEL:090-7654-9711 FAX:088-813-0139 MAIL:s-ukasanchi@mb.pikara.ne.jp	工事名	高知市斎場火葬棟空調設備設置工事	日付	2026.10.	設計	宇賀龍介	図面番号	M-13
							図面名	2階計装設備 平面図(改修図)	縮尺	A2→A3 1/100 (71%縮小)				



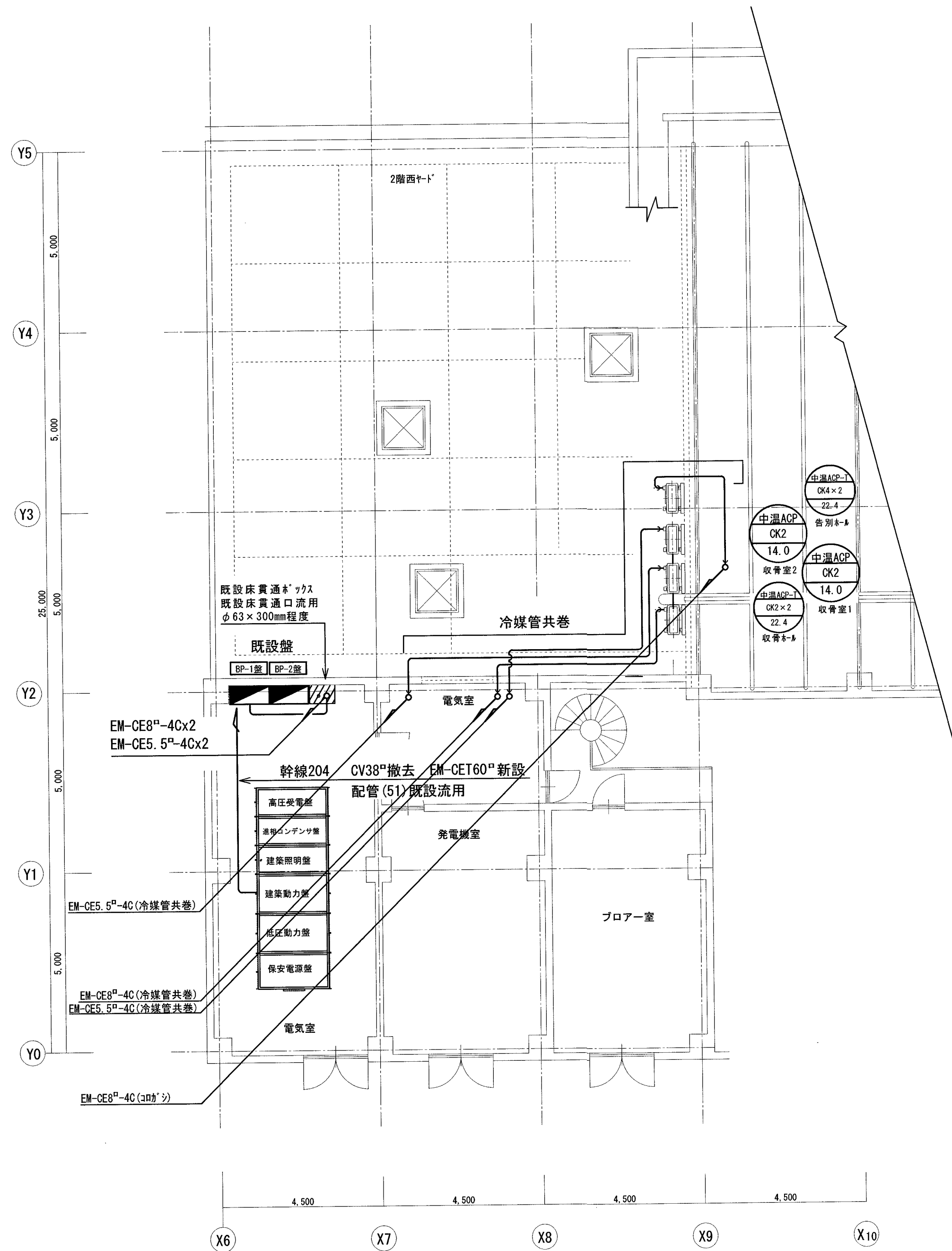
訂正事項	高知市都市建設部公共建築課	係	係長	課長補佐	課長	 設備設計うかさんち。 Mechanical & Electrical design office ukasanchi 高知市八反町2丁目8番地5号 TEL:090-7654-9711 FAX:088-813-0139 MAIL:s-ukasanchi@mb.pikara.ne.jp	工事名	高知市斎場火葬棟空調設備設置工事	日付	2026. 10.	設計	図面番号
		 伊藤	 戸田	 伊藤	 松本		図面名	1階天井伏 平面図(改修図)	縮尺	A2→A3 1/100 (71%縮小)	宇賀龍介	M-14

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		機 器 取 付 高						
電気設備特記仕様				20		非常用照明の照度測定		各部屋2箇所以上を測定し、避難動線を考慮した位置とする。						
① 機材		メーカーリストによる。		21		一般照明の照度測定等		照明全数において、センサの動作及び機能の確認を含む照度測定を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ※照度測定（100%点灯時（※夜間・昼間））・昼光率（調光制御点灯時（※夜間・昼間）） ※照度測定基準：JIS C 7612に準じて行うこと。						
2 他工事との取り合い		はり貫通部のスリーブ ※ 本工事 ・ 別途工事 補 強 ・ 本工事 ※ 別途工事		22		受変電設備		・ 電力ヒューズ（現用の定格値）を予備用に同数量納入し、電気室等に保管する。 ※ S0G制御装置の外箱は原則としてステンレス製とする。 ※ 変圧器に防振ゴムを取り付ける場合は、地震による変位を抑制するための機能を要する。						
		自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ ・ 本工事 ※ 別途工事		23		テレビ共同受信設備		分岐器、分配器、直列ユニットはC・S・B・S・UHF共用形(デジタル放送対応品)とする。 電界強度の測定 要 不要 (a)受信レベル (b)ビット誤り率(BER) (c)変調誤差比(MER) (d)受信電圧 ※ 測定内容に関しては、監督職員と協議すること。 埋設深さ ・ 一般敷地 600mm以上 ・ 舗装道路 600mm以上 ・ 公道 800mm以上 地中管路には、管下50mm、管上100mm程度保護砂を入れる。						
		天井埋込型器具の取付箇所の下地材の切込み及び補強 ・ 本工事 ※ 別途工事(墨出しは本工事)ただし、ダウンライト等、切込み寸法が小さい場合は除く		24		構内埋設線路		水抜き穴は現場の水位を確認の上、要否を検討すること。						
		天井点検口の取付箇所の下地材の切込み及び補強 ・ 本工事 ※ 別途工事(墨出しは本工事)		25		ハンドホール		設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」及び建設大臣官房官庁営繕部監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）」による。 局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置隣により、選定する。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 備考 100kg以上の機器に適用するが、それ以下の機器については監督職員と協議する。 地域係数は1.0とし、設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とする。 施設の分類 特定の施設 一般の施設 重要機器 受変電設備 ・ 自家発電設備 ・ 蓄電池設備 ・ 無停電電源装置 ・ 幹線用分電盤 ・ その他（						
		軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地材の切込み及び補強 ※ 本工事 ・ 別途工事		26		耐震施工		局所震度法による建築設備機器（水槽を除く）の設計用標準水平震度						
		埋込型分電盤、端子盤等の 仮 枠 ※ 本工事 ・ 別途工事 補 強 ・ 本工事 ※ 別途工事						表 1 局所震度法による建築設備機器（水槽を除く）の設計用標準水平震度						
		照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事 ・ 別途工事						表 2 太陽光発電（太陽電池アレイ）用基礎の強度計算に用いる用途係数						
		屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ビット(ふたを含む) ・ 本工事 ※ 別途工事						表 3 太陽光発電システムの風速の設計用再現期間を50年とし、これが用途係数の1.0に相当する。						
		屋外の受変電設備基礎 ※ 本工事 ・ 別途工事						表 4 天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。						
		動力機器（電動機など）への接続 ※ 本工事 ・ 別途工事						表 5 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求めめる場合の風速（Vo）及び地表面粗土区分は、次の数値とする。（ポール型照明についてはJIL1003を適用とする。） 風速（Vo）： ・ 38m/sec（ ・ コンクリート柱 ・ テレビアンテナ ・ 避雷針 ・ 太陽光電池アレイ ・ 60m/sec（ ・ ポール型照明 ・ ） 地表面粗土区分： ※ Ⅲ						
③ 電線類		EMケーブルとする。EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 耐火ケーブル（FP）及び耐熱ケーブル（HP）はシースに耐熱性ポリエチレンを用いたものとする。		27		特定天井への対応		天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。						
4 電線管		屋外露出配管 銅管を使用する場合 ※溶融亜鉛めっき ・ プライマ処理後指定色塗装（2回塗り） ビニール電線管を使用する場合 ※カラー管を使用する P管は単層管（タイプ25）とする。		28		風圧力		本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求めめる場合の風速（Vo）及び地表面粗土区分は、次の数値とする。（ポール型照明についてはJIL1003を適用とする。） 風速（Vo）： ・ 38m/sec（ ・ コンクリート柱 ・ テレビアンテナ ・ 避雷針 ・ 太陽光電池アレイ ・ 60m/sec（ ・ ポール型照明 ・ ） 地表面粗土区分： ※ Ⅲ						
5 呼び線		長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。						表 6 壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。ただし、監督職員の指示により変更することがある。						
6 フラッシュプレート材質		・ 樹脂製 ・ 新金属 ・ ステンレス						表 7 名 称 測 点 取付高（mm）						
7 カバープレート		用途別表示としてシール等を貼付する。						ブラケット（一般） 床上～中心 2,100						
8 接地極		※ 下記による。なお接地棒EBの長さは1,500mmとする。						ブラケット（踊場） 床上～中心 2,500						
		表 1 接地の種類 記号 接地抵抗値 接地棒						ブラケット（踊上） 踊上端～中心 150						
		共同接地 E A E D 10Ω 以下 E B（14φ）x 3連～2組						避難口誘導灯 床上～下端 1,500以上						
		A種 E A 10Ω 以下 E B（14φ）x 3連～2組						廊下通路誘導灯 床上～上端 1,000以下						
		B種 E B 200Ω 以下 E B（14φ）x 3連～2組						スイッチ（一般） 床上～中心 1,300						
		C種 E C 10Ω 以下 E B（14φ）x 3連～2組						スイッチ（住宅） 床上～中心 1,200						
		D種 E D 100Ω 以下 E B（10φ）x 1						スイッチ（バリアフリートイレ） 床上～中心 ※1						
		雷保護 E L 10Ω 以下 E P x 1						コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（一般） 床上～中心 300						
		高圧避雷器 E L H 10Ω 以下 E B（14φ）x 3連～2組						コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（和室） 床上～中心 150						
								コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（台所） 台上～中心 150						
								コンセント（保育園） 床上～中心 1,100～1,200 ※1						
								コンセント（庫庫） 床上～中心 800						
								引込開閉器箱（低圧） 床上～中心 1,500						
								分電盤、制御盤 床上～中心 1,500（上端1,900以下）						
								ホーム分電盤 床上～中心 （下端2,000以下） ※1						
								開閉器箱 床上～中心 1,500						
9 埋設表示		雷保護設備用及び共同接地極の表示 ・ 黄銅板製 ・ ステンレス製 上記以外の接地極及び地中配線の表示 80 x 300のコンクリート杭又は、プラスチック杭に方向種別を彫り込んだもの。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。 地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。		27		特定天井への対応		天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。						
10 再使用機器		取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定の上、取付のこと。 [1.4.3]		28		風圧力		本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求めめる場合の風速（Vo）及び地表面粗土区分は、次の数値とする。（ポール型照明についてはJIL1003を適用とする。） 風速（Vo）： ・ 38m/sec（ ・ コンクリート柱 ・ テレビアンテナ ・ 避雷針 ・ 太陽光電池アレイ ・ 60m/sec（ ・ ポール型照明 ・ ） 地表面粗土区分： ※ Ⅲ						
⑪ 絶縁抵抗等の測定		工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗等を測定し、測定表を監督職員に提出する。						表 8 壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。ただし、監督職員の指示により変更することがある。						
⑫ 補修など		工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。						表 9 名 称 測 点 取付高（mm）						
13 屋上・屋側の支持金物		原則としてステンレス製とする。（装柱金物は除く）						ブラケット（一般） 床上～中心 2,100						
14 結露防止		内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。						ブラケット（踊場） 床上～中心 2,500						
15 はつり		既存のコンクリート床・壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを用いる。						ブラケット（踊上） 踊上端～中心 150						
⑬ あと施工アンカー		あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。						避難口誘導灯 床上～下端 1,500以上						
17 配線器具		タンブラスイッチは大角型通用形（ネーム入）とする。 壁付コンセントは原則として大角型通用形とし、通用形以外はブラグ付とする。 単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。 呼出ボタンは点字付とする。						廊下通路誘導灯 床上～上端 1,000以下						
18 照明器具等の接地		接地線は原則として 1E 1.6mm以上（緑色）とする。また、ケーブルの一芯を使用する場合は、緑色の芯線とする。						スイッチ（一般） 床上～中心 1,300						
19 照明器具用位置ボックス		ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。 ケーブル配線で照明器具を送り端子付のもの（定格電流15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。						スイッチ（住宅） 床上～中心 1,200						
								スイッチ（バリアフリートイレ） 床上～中心 ※1						
								コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（一般） 床上～中心 300						
								コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（和室） 床上～中心 150						
								コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（台所） 台上～中心 150						
								コンセント（保育園） 床上～中心 1,100～1,200 ※1						
								コンセント（庫庫） 床上～中心 800						
								引込開閉器箱（低圧） 床上～中心 1,500						
								分電盤、制御盤 床上～中心 1,500（上端1,900以下）						
								ホーム分電盤 床上～中心 （下端2,000以下） ※1						
								開閉器箱 床上～中心 1,500						
								表 10 機器 取付高						
								表 11 打合せ事項						
								表 12 打合せ事項						
								表 13 打合せ事項						
								表 14 打合せ事項						
								表 15 打合せ事項						
								表 16 打合せ事項						
								表 17 打合せ事項						
								表 18 打合せ事項						
								表 19 打合せ事項						
								表 20 打合せ事項						
								表 21 打合せ事項						
								表 22 打合せ事項						
								表 23 打合せ事項						
								表 24 打合せ事項						
								表 25 打合せ事項						
								表 26 打合せ事項						
								表 27 打合せ事項						
								表 28 打合せ事項						
								表 29 打合せ事項						
								表 30 打合せ事項						
								表 31 打合せ事項						
								表 32 打合せ事項						
								表 33 打合せ事項						
								表 34 打合せ事項						
								表 35 打合せ事項						
								表 36 打合せ事項						
								表 37 打合せ事項						
								表 38 打合せ事項						
								表 39 打合せ事項						
								表 40 打合せ事項						
								表 41 打合せ事項						
								表 42 打合せ事項						
								表 43 打合せ事項						
								表 44 打合せ事項						
								表 45 打合せ事項						
								表 46 打合せ事項						
								表 47 打合せ事項						
								表 48 打合せ事項						
								表 49 打合せ事項						
								表 50 打合せ事項						
								表 51 打合せ事項						
								表 52 打合せ事項						
								表 53 打合せ事項						
								表 54 打合せ事項						
								表 55 打合せ事項						
								表 56 打合せ事項						
								表 57 打合せ事項						
								表 58 打合せ事項						
								表 59 打合せ事項						
								表 60 打合せ事項						
								表 61 打合せ事項						
								表 62 打合せ事項						
								表 63 打合せ事項						
								表 64 打合せ事項						
								表 65 打合せ事項						
								表 66 打合せ事項						
								表 67 打合せ事項						
								表 68 打合せ事項						
								表 69 打合せ事項						
								表 70 打合せ事項						
								表 71 打合せ事項						
								表 72 打合せ事項						
								表 73 打合せ事項						
								表 74 打合せ事項						
								表 75 打合せ事項						
								表 76 打合せ事項						
								表 77 打合せ事項						
								表 78 打合せ事項						
								表 79 打合せ事項						
								表 80 打合せ事項						
								表 81 打合せ事項						
								表 82 打合せ事項						
								表 83 打合せ事項						
								表 84 打合せ事項						
								表 85 打合せ事項						
								表 86 打合せ事項						
								表 87 打合せ事項						
								表 88 打合せ事項						
								表 89 打合せ事項						
								表 90 打合せ事項						
								表 91 打合せ事項						
								表 92 打合せ事項						
								表 93 打合せ事項						
								表 94 打合せ事項						
								表 95 打合せ事項						
								表 96 打合せ事項						
								表 97 打合せ事項						
								表 98 打合せ事項						
								表 99 打合せ事項						
								表 100 打合せ事項						
								表 101 打合せ事項						
								表 102 打合せ事項						
								表 103 打合せ事項						
								表 104 打合せ事項						
								表 105 打合せ事項						
								表 106 打合せ事項						
								表 107 打合せ事項						
								表 108 打合せ事項						
								表 109 打合せ事項						
								表 110 打合せ事項						
								表 111 打合せ事項						
								表 112 打合せ事項						
								表 113 打合せ事項						
								表 114 打合せ事項						
								表 115 打合せ事項						
								表 116 打合せ事項						
								表 117 打合せ事項						
								表 118 打合せ事項						
								表 119 打合せ事項						
								表 120 打合せ事項						
								表 121 打合せ事項						
								表 122 打合せ事項						
								表 123 打合せ事項						
								表 124 打合せ事項						
								表 125 打合せ事項						
								表 126 打合せ事項						
								表 127 打合せ事項						
								表 128 打合せ事項						
								表 129 打合せ事項						
								表 130 打合せ事項						
								表 131 打合せ事項						
								表 132 打合せ事項						
								表 133 打合せ事項						
								表 134 打合せ事項						
								表 135 打合せ事項						
								表 136 打合せ事項						
								表 137 打合せ事項						
								表 138 打合せ事項						
								表 139 打合せ事項						
								表 140 打合せ事項						
								表 141 打合せ事項						
								表 142 打合せ事項						
								表 143 打合せ事項						
								表 144 打合せ事項						
								表 145 打合せ事項						
								表 146 打合せ事項						
								表 147 打合せ事項						
								表 148 打合せ事項						
								表 149 打合せ事項						
								表 150 打合せ事項						
								表 151 打合せ事項						
								表 152 打合せ事項						

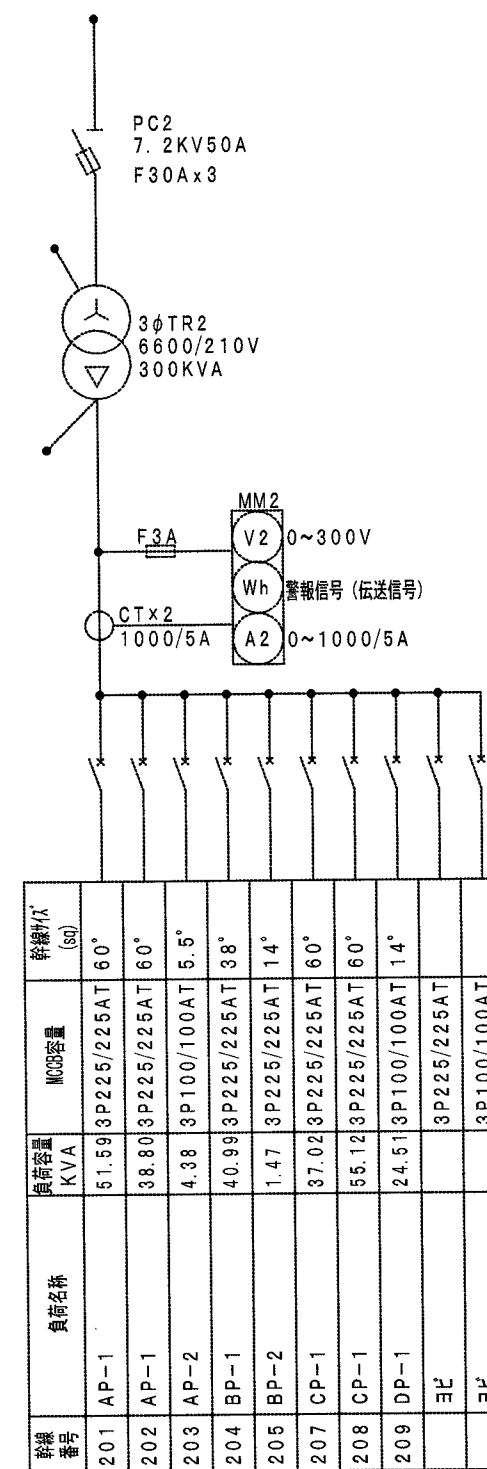


1階 空調動力配線図 (改修図) S=1 : 100

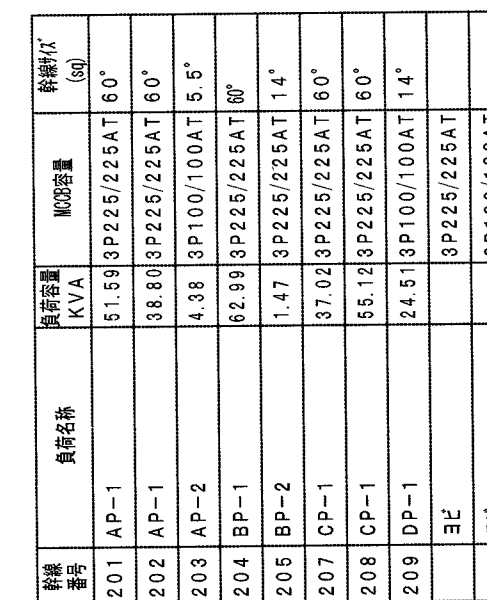
訂正事項								工事名		日付	設計	図面番号					
								高知市斎場火葬棟空調設備設置工事		2026. 10.							
	高知市都市建設部公共建築課				係 係 長 課 長 補 佐 課 長    			 設備設計うかさんち。 Mechanical & Electrical design office ukasanchi		高知市八反町2丁目8番地5号 TEL:090-7654-9711 FAX:098-813-0139 MAIL:s-ukasanchi@mb.pikara.ne.jp		図面名		縮尺	A2→A3 (71%縮小)	宇賀龍介	E-02
								1階 空調動力配線図(改修図)		1/100							



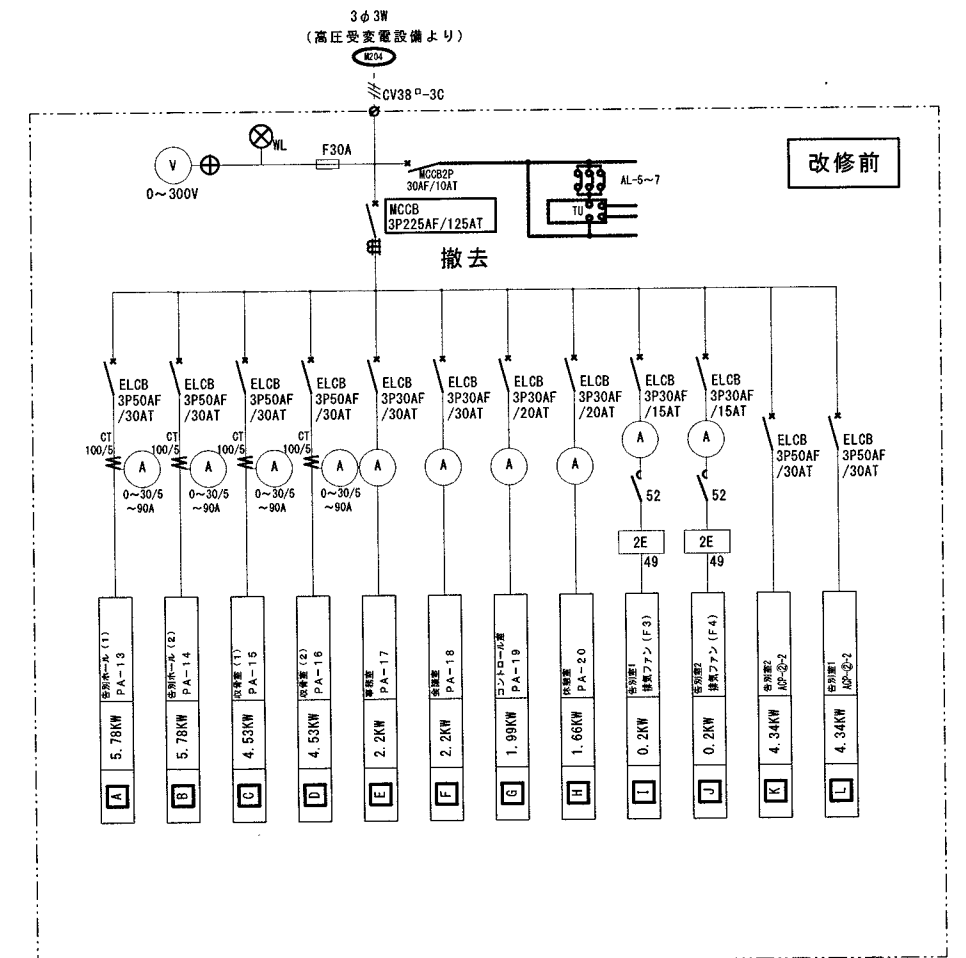
2階 空調動力配線図 (改修図) S=1:100



幹線204取替 CV38°撤去 EM-CET60°新設

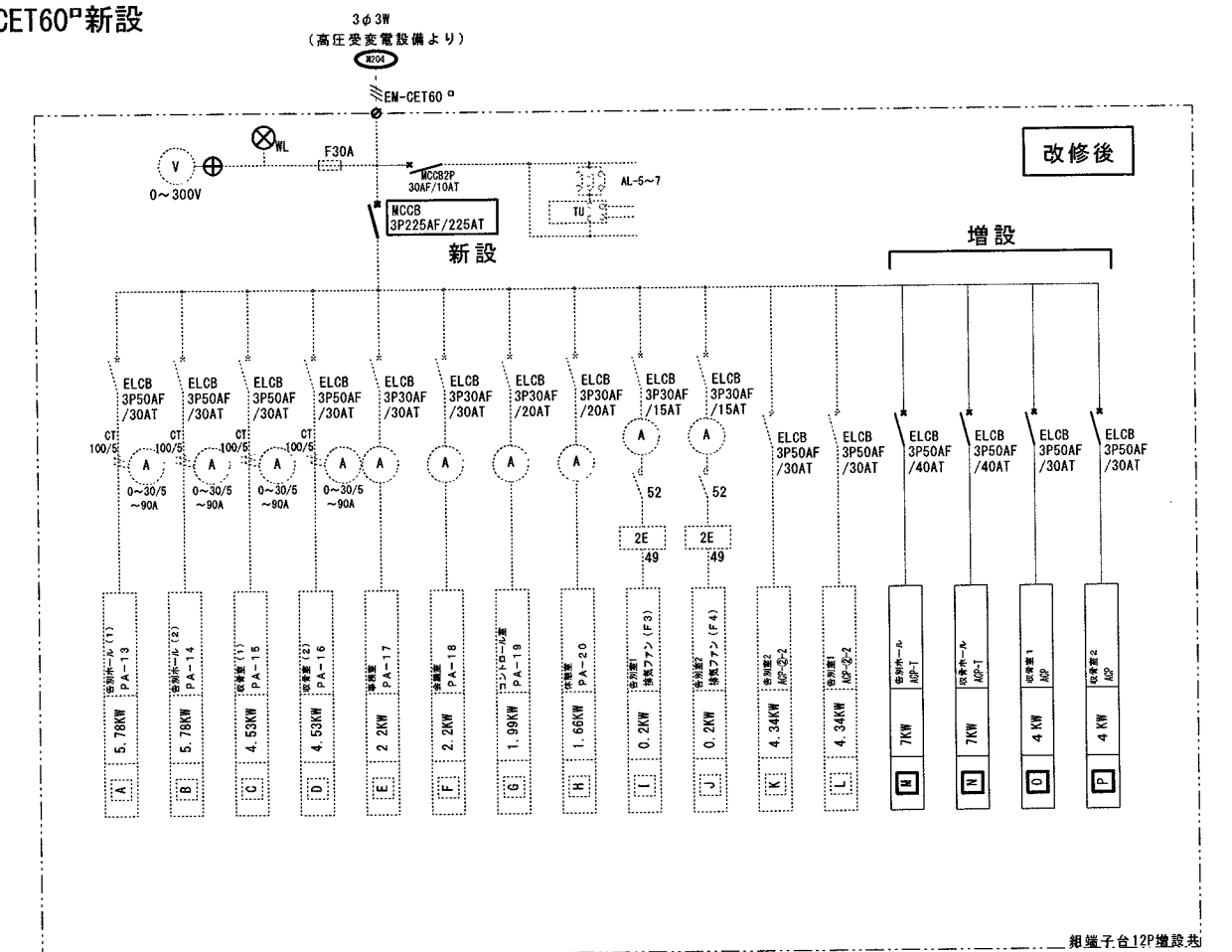


建築動力盤



改修前BP-1盤

形式	自立型 標準
備考	鋼板製 指定色塗装



改修後BP-1盤

2階 盤改修図 S=NON